

5/30 (月) の発表



報道発表資料の配付日時 5月30日 (月) 11時00分

発表項目 (行事名)	山菜採りによる遭難事故防止について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>山菜採りは、手軽に行えるため、ついつい油断してしまい大きな事故につながる場合があります。</p> <p>過去5年間における山菜採り遭難は、例年5～6月に多く発生し、年間の約76%を占めます。</p> <p>また、行者ニンニク・タケノコ採り目的が最も多く、全体の約78%を占めているほか、65歳以上の方が全体の約82%を占めています。</p> <p>山菜採りをされる皆様に「ホイッスル・携帯電話は必ず携行すること」、「行き先と帰宅時間の周知」、「単独行動を避けて2人以上での行動」、「目立つ服装で雨具・防寒着の携行」、「もし道に迷ったらむやみに歩き回らず、待機し救助を待つ」などについて注意していただくよう報道をお願いします。</p> <p>〔(参考) 山菜採り遭難の死亡リスク 10件に1人が死亡〕</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 (場所)	同時レク	
担当 (連絡先)	宗谷総合振興局 地域創生部 地域政策課 主幹 菊池 博幸 TEL 0162-33-2914 (内線2151) 防災係長 山本 高 TEL 0162-33-2526 (内線2191)		

山菜採り遭難を防ぐために

例年、山菜採りで入山して、道に迷ったり、滑落するなどの事故が発生しています。

山菜採り遭難を防ぐため、次の点に注意しましょう。

□ 行き先を家族に告げる

『自分だけの秘密の場所だから』では、行き先が分からず、捜索開始が遅れます。

行き先や帰宅時間は、必ず家族等に知らせましょう。

□ 単独での入山を避ける

万一、迷ったり、けがをした場合は、一人では救助要請できないことがあります。

できるだけ複数で入山し、絶えずお互いの位置を確認しながら行動しましょう。

□ 携帯電話、ホイッスルを携行する

携帯電話は、非常時の連絡手段として、必ず持ちましょう。

ホイッスルがあると自分の存在を知らせることができます。

□ 目立つ色の服装を

山中では、赤・白色系の服装が目立つので、救助隊やヘリコプターから発見されやすくなります。

また、山の天候は変わりやすいので、雨具や防寒着を携行しましょう。

□ 落ち着いて行動する

万一、山中で迷った場合は、むやみに歩き回らず、体力の消耗を抑えて、発見されやすい視界が開けた場所で待機しましょう。

